



オリンピック出場

公益財団法人日本ハンドボール協会

会長 金丸 恭文

念願のパリオリンピック出場が決定しました。

日本のハンドボール界の未来に大きな一歩になります。

選手、監督、チームスタッフの皆さま、本当におめでとうございます。

男子ハンドボールはソウルオリンピック以来の36年ぶりの自力出場になります。

2017年よりダグルシグルドソン監督を迎え、東京オリンピックでの世界の強豪国との対戦経験を礎に、アジア大会での僅差の敗戦から学び、このたび、パリオリンピック自力出場の目標を達成できました。

東京オリンピックを控え、コロナウイルスの世界的流行で思うように強化ができず、男子代表チームもコロナの影響を受けましたが、選手個々人はしっかりと目標に向かってトレーニングを積み、厳しい環境の中でも情熱を傾け続け、ハンドボールに打ち込んでくれました。特に今大会では海外でプレーしている選手と国内でプレーしている選手が融合して補完しあい、チームとして誰がコートに立っても戦力が落ちなかったことが勝因の一つだと思います。

選手起用ではダグル監督が選手の素晴らしい闘志を信頼し、ここ一番での精神力、守備力の強化を図り、それに見事に応えた選手たち、まさしくチーム一丸の勝利です。

オリンピック出場の夢が叶わない長い年月が経ちますが、その間多くの代表選手、関係者の情熱の火が継承され、決して諦めない地道な応援がオリンピックまでの道に導いてくださったと思います。待ちに待ったハンドボール界全体での悲願達成です。

また、選手の所属チームの皆様のご協力により、最高のチーム編成ができましたこと、心よりお礼申し上げます。日頃より多大なるご支援をいただいております、上部団体、都道府県協会、各連盟、協賛各社様には御礼を申し上げますと共に、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今大会は、時差の関係で日本時間の深夜での試合にもかかわらず、多くのファンの皆様の応援をいただきました。現地でも日本人の方々の応援が選手の後押しをしてくれました。ファンの皆様と今一度喜びを分かち合えればうれしい限りです。

パリオリンピックでもご期待に沿えるよう、成長して参ります。

応援よろしくお願い申し上げます。